

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 29 年 11 月 15 日

事業所名 平谷こども発達クリニック 発達支援室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	取り組み状況・改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			お子さんと活動内容によって、部屋の大きさ等を検討して決めている
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		スロープ、手すりはあるが、事業所内に、エレベーターなどの設備はない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		評価表やアンケートを使った調査は今まで行っていなかったため、今後は今回のような調査を行っていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		事業所内に掲示、ホームページに掲載予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部評価は行っていないため、今後は検討する
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している			○	4 月より研修を始めることになっている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			学校での様子の評価を客観的な方法で行えていないため、今後行うようにする
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		診断時のみ行っているが、その後の経過を追っていない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている			○	個別でのサービスのため、チームで活動を行っていない
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			取り組みやすいようにいくつかの活動を組み合わせて行うように工夫している
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している			○	当事業所では集団と個別を組み合わせた支援を行っていないため
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している			○	当事業所では複数の担当がついた支援形態をとっていないため
⑮	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			○	当事業所では複数の担当がついた支援形態をとっていないため	

	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	当事業所では医療的ケアの必要な子どもを受け入れていないため
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	このようなケースがほぼ無い。移行先から情報の提供を求められれば行うこととする
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○	研修を受けたことはないが、場合によって助言や情報をもらうことがある
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	事業所内での支援を基本としているため
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			○	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			毎回そのような機会を設け、日常での様子に合わせた支援をするようにしている
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○			保護者の方に対しても、日常での関わり方等のアイデアを伝えている
保護者への	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談に対する助言は行っているが、その結果と改善点についても話し合う機会を増やしていきたい

説明責任等	③①	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		集団支援の場合のみ保護者同士の話の場を設けている
	③②	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○		今まで問題となるような申し入れはなかったが、そのようなことがあった場合には迅速に対応する
	③③	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			○	当事業所では会報等の発行は行っていない
	③④	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	③⑤	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	地域に開いた行事等は行っていない
非常時等の対応	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		職員間の周知は行っているが、保護者に対する周知は行っていないため、今後保護者が閲覧できるようなマニュアルを作成する予定
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			○	このような事例もなかったため、計画書に記載することもなかったが、今後は説明記載を検討する
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		今までの支援の中で食べ物を食べるものがなかったが、そのような場合には診断書に基づく対応を行う
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		ヒヤリハットについての研修会は行っているが、事例集の作成は行っていない

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 29 年 11 月 15 日

事業所名 平谷こども発達クリニック 発達支援室

保護者等数（児童数）57 名 回収数 50 割合 87 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	46	4	0	個別での支援なので十分だと思う	お子さんと支援内容に合わせた部屋を使用している
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	45	5	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	43	5	2		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、計画が作成されているか	46	4	0		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	37	13	0		
	⑥	保育所や児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			50	このような交流は希望していない	事業所内での支援を基本としているため、このような機会は予定していない
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	43	7			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	39	11		子どもの発達状況を伝える機会が少ないと思う	保護者様と話しができるような時間を作ることを検討する
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	44	5	1	行われているが、もう少し話す時間が設けられるといい	保護者様と話しができるような時間を作ることを検討する
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		22	28	・他の保護者との関わりがないから変わらない ・保護者同士の連携支援は不要であると思う	集団支援の場合にはそのような機会を設ける予定である
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	25	2	・苦情がないからわからない ・担当の先生は迅速に対応してくれるが、事業所としては適切で迅速な感じはしない	対応については体制があるため、今後、苦情や申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応していきたい
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39	11			

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	31	6	見たことがない	活動や行事についての会報やホームページ等での発信はしていないが、連絡体制や評価について利用者様の目に触れる工夫をしていく
	⑭	個人情報の取扱いに十分注意されているか	42	8			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し保護者に周知・説明されているか。		34	16	・病院に併設しているため、必要性は高くないと思う ・このような機会があるといいと思う	利用者様が自由に見れるようなマニュアル設置を検討中
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		34	16	頻度が少ないため行ったことがないが、このような機会があるといいと思う	来所頻度が多くないため、利用者が参加できるような避難訓練を行う予定はない
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	36	12	2	学校の後など疲れているのが行きたくないと言うことがある	お子様がまた来たいと言ってくれるように工夫していく
	⑱	事業所の支援に満足しているか	42	8		・次の課題をその場で教えてもらえると子どもに接する時に対応しやすくて助かる ・集団支援で来ているが、個別の支援の場を設けて欲しい	・お子様・保護者様、双方に十分な支援を提供できるように努める ・集団支援を利用の方にも個別で支援できる場を設ける予定である

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。